

名古屋市感染症発生動向調査情報

2018年(平成30年)第51週(2018年12月17日~12月23日)

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部) 2018年12月26日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0.html>

◆本市の状況

〔トピックス：インフルエンザ〕

- 本市における第51週(12月17日~12月23日)のインフルエンザの定点当たり患者報告数は17.34人/定点で、第50週の4.86人/定点から大幅に増加しました。
- 集団かぜによる学級閉鎖等の措置が実施された施設数は、第51週には13施設報告され、9月以降の累計報告数は35施設(12月19日まで)となっています。
- インフルエンザウイルスのうち、近年、国内で流行しているのは、AH1pdm09亜型(2009年に流行したインフルエンザ)、AH3亜型(いわゆる香港型)、B型(ビクトリア系統、山形系統)です。2018/19シーズンはこれまでにAH1pdm09亜型が全国的に多く検出されています。
- インフルエンザは例年1月から2月にかけて流行のピークを迎えます。小児や高齢者、免疫力の低下している方では重症化する場合があるので注意が必要です。

〔風しん〕

- 第51週(12月17日~12月23日)の風しんの患者報告数は1人で、第51週までの風しんの累計患者報告数は58人となりました。また、全国の風しんの累計患者報告数は2,713人(第50週まで)になりました。
- 首都圏を中心に風しんの届出数が大幅に増加しており、特に30代から50代の男性で多くを占めています。患者の風しんワクチン接種歴は、「なし」または「不明」が90%以上を占めています。
- 妊娠初期の妊婦が感染すると、先天性風しん症候群の赤ちゃんが生まれる可能性があります。
- 風しんの予防にはワクチン接種が有効であるため、過去に風しんにかかったことのない方や風しんの予防接種を受けたことのない方は、接種について検討が必要です。

〔定点把握感染症の発生動向〕

- インフルエンザの定点当たり患者報告数は、前週の 4.9 人から 17.3 人に増加した。過去 3 年の同一週の平均との比較では、4.1 倍多い報告数となった。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は、前週の 1.2 人から 1.5 人に増加した。
- RS ウイルス感染症の定点当たり患者報告数は、前週の 0.2 人から 0.3 人に増加した。
- 手足口病の定点当たり患者報告数は、前週の 0 人から 0.1 人に増加した。

〔1 類～5 類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2018 年 第 51 週	2 類	結核	10	<ul style="list-style-type: none"> • 女性、83 歳、粟粒結核・脊椎カリエス • 女性、81 歳、結核性胸膜炎 • 男性、82 歳、結核性心膜炎 • 女性、65 歳、腸結核 • 男性、88 歳、肺結核 • 男性、94 歳、肺結核 • 女性、70 歳、肺結核 • 男性、88 歳、肺結核 • 男性、39 歳、無症状病原体保有者 • 男性、64 歳、無症状病原体保有者
2018 年 第 51 週	5 類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	<ul style="list-style-type: none"> • 女性、0 歳
2018 年 第 51 週	5 類	侵襲性肺炎球菌感染症	3	<ul style="list-style-type: none"> • 男性、13 歳、菌検出検体：血液 • 女性、64 歳、菌検出検体：血液 • 男性、87 歳、菌検出検体：血液
2018 年 第 51 週	5 類	梅毒	2	<ul style="list-style-type: none"> • 女性、37 歳、無症状病原体保有者 • 女性、43 歳、無症状病原体保有者

2018年 第51週	5類	百日咳	8	<ul style="list-style-type: none"> 男性、12歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：国内（都道府県不明） 男性、7歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 男性、6歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 女性、17歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 女性、77歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 女性、13歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：愛知県 女性、13歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 女性、15歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市
2018年 第51週	5類	風しん	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、51歳、検査診断例、感染地域：不明

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった1類から5類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2018年 第50週	5類	ウイルス性肝炎	1	<ul style="list-style-type: none"> 女性、34歳、B型、感染経路：性的接触（異性間）
2018年 第50週	5類	梅毒	2	<ul style="list-style-type: none"> 女性、24歳、無症状病原体保有者 男性、30歳、無症状病原体保有者
2018年 第50週	5類	百日咳	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、14歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市
2018年 第48週	5類	梅毒	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、52歳、早期顕症梅毒（1期）

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2018年1類～5類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2類感染症	急性灰白髄炎	0
2類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	563（132） [1] [1] 【1】
2類感染症	ジフテリア	0
2類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コ ロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3類感染症	コレラ	0
3類感染症	細菌性赤痢	2
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	52（11）
3類感染症	腸チフス	0
3類感染症	パラチフス	1
4類感染症	E型肝炎	1
4類感染症	A型肝炎	24
4類感染症	チクングニア熱	1
4類感染症	つつが虫病	1
4類感染症	デング熱	4
4類感染症	日本紅斑熱	1
4類感染症	マラリア	1
4類感染症	レジオネラ症	51（1）
5類感染症	アメーバ赤痢	28
5類感染症	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	2
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	58
5類感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	8
5類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、 東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー 熱を除く）	13
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15
5類感染症	後天性免疫不全症候群	76（58）〈1〉

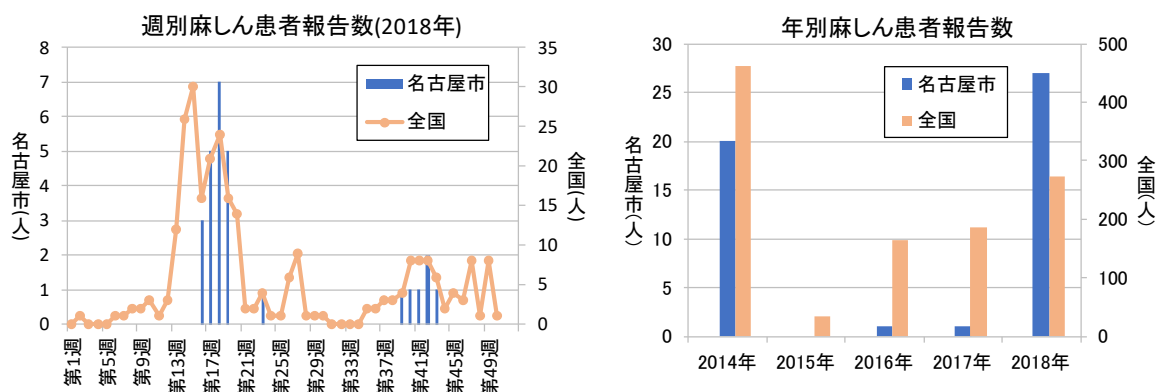
5 類感染症	シアルジア症	1
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	12
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	2
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	73【1】
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	6
5 類感染症	梅毒	243（80）
5 類感染症	播種性クリプトコックス症	5
5 類感染症	破傷風	3
5 類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2
5 類感染症	百日咳	118
5 類感染症	風しん	58
5 類感染症	麻疹	27

累計は 2018 年第 1 週からの診断週による累計、（ ）内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[]内は疑似症累計数を再掲、【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔名古屋市の麻しん報告数：2018年12月26日作成〕



週別麻しん患者報告数(2018年)

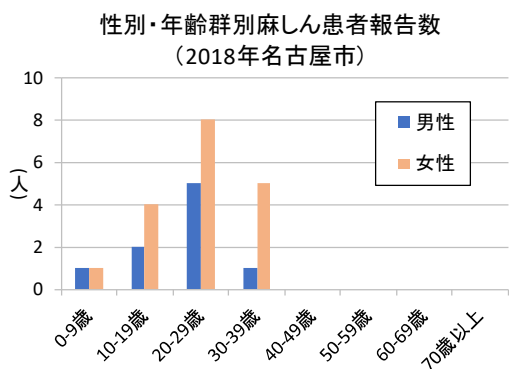
名古屋市	第16週 (4/16～ 4/22)	第17週 (4/23～ 4/29)	第18週 (4/30～ 5/6)	第19週 (5/7～ 5/13)	第23週 (6/4～ 6/10)	第39週 (9/24～ 9/30)	第40週 (10/1～ 10/7)	第41週 (10/8～ 10/14)	合計(人)
		3	5	7	5	1	1	1	
第42週 (10/15～ 10/21)	第43週 (10/22～ 10/28)	/							
	2	1	/						

※第51週(12月23日)まで 表は患者報告のあった週のみ掲載

年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	272※3

※1:第51週(12月23日)まで ※2:12月21日時点 ※3:第50週(12月16日)まで

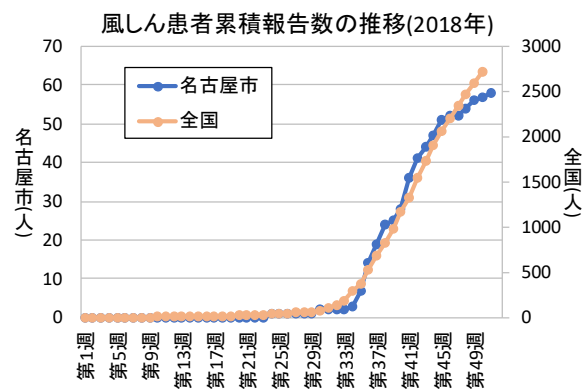
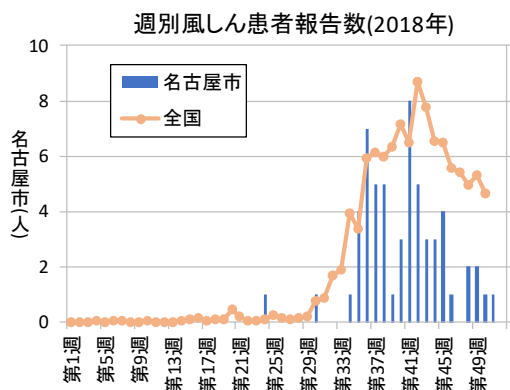


性別・年齢群別麻しん患者報告数(2018年名古屋市)

	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計(人)
男性	1	2	5	1					9
女性	1	4	8	5					18

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2018年12月26日作成〕



週別風しん患者報告数(2018年)

名古屋市	第24週 (6/11~ 6/17)	第30週 (7/23~ 7/29)	第34週 (8/20~ 8/26)	第35週 (8/27~ 9/2)	第36週 (9/3~ 9/9)	第37週 (9/10~ 9/16)	第38週 (9/17~ 9/23)	第39週 (9/24~ 9/30)	合計(人)
	1	1	1	4	7	5	5	1	
第40週 (10/1~ 10/7)	第41週 (10/8~ 10/14)	第42週 (10/15~ 10/21)	第43週 (10/22~ 10/28)	第44週 (10/29~ 11/4)	第45週 (11/5~ 11/11)	第46週 (11/12~ 11/18)	第48週 (11/26~ 12/2)		
3	8	5	3	3	4	1	2		
第49週 (12/3~ 12/9)	第50週 (12/10~ 12/16)	第51週 (12/17~ 12/23)							
2	1	1							

※第51週(12月23日)まで 表は患者報告のあった週のみ掲載

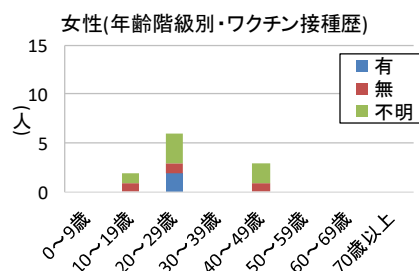
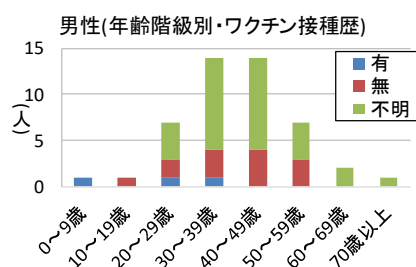
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	119※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	93	2713※3

※1: 第51週(12月23日)まで ※2: 12月21日時点 ※3: 第50週(12月16日)まで

風しん患者の性別・年齢階級別・ワクチン接種歴(2018年名古屋市)

	年齢階級	ワクチン接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0~9歳	1			1
	10~19歳		1		1
	20~29歳	1	2	4	7
	30~39歳	1	3	10	14
	40~49歳	4	10	14	14
	50~59歳	3	4	7	7
	60~69歳			2	2
	70歳以上			1	1
	計(人)	3	13	31	47
女性	0~9歳				0
	10~19歳		1	1	2
	20~29歳	2	1	3	6
	30~39歳				0
	40~49歳		1	2	3
	50~59歳				0
	60~69歳				0
70歳以上				0	
	計(人)	2	3	6	11
総計(人)		5	16	37	58



報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

インフルエンザ A 型 13 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 型 40 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 型 14 名 水痘：同じ小学校	定点医療機関（千種区）
アデノウイルス扁桃腺炎 2 歳男@アデノウイルス扁桃腺炎 1 歳女	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 1 3 名	定点医療機関（東区）
インフルエンザ A 型 23 名	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型 3 3 名、臨床診断 3 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 9 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 7 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 2 4 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型	定点医療機関（中区）

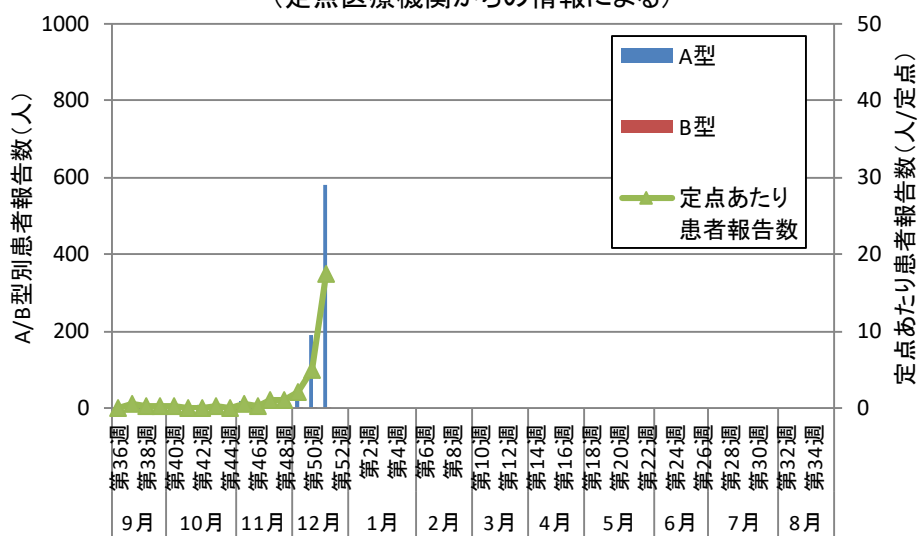
インフルエンザA型	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：12名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：43名、インフルエンザB型：1名（15～19歳、女性）	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：11名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：7名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型 8名	定点医療機関（瑞穂区）
インフルエンザA型：6名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型：8名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型：6名	定点医療機関（熱田区）
4歳男児：病原性大腸菌O-25	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型4名	定点医療機関（港区）
インフルエンザA型13名	定点医療機関（港区）
インフルエンザ すべてA型 男性 72名 女性 61名	定点医療機関（南区）
インフルエンザ すべてA型 男性 5名 女性 3名	定点医療機関（南区）

インフルエンザ すべてA型 男性 3名 女性 1名	定点医療機関（南区）
インフルエンザA型	定点医療機関（守山区）
インフルエンザA型 11名	定点医療機関（守山区）
インフルエンザA型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型	定点医療機関（緑区）
F1uA急増中です。B型は現在のところなし。	定点医療機関（名東区）
インフルエンザA型20名・インフルエンザB型0名	定点医療機関（天白区）
37才男性A、Bに反応あり。プレート2枚で確認しましたが、確実にA、B陽性でした。残りは全てA型でした。	定点医療機関（天白区）

〔インフルエンザ A/B 型別流行状況〕

インフルエンザウイルス迅速診断キットによるインフルエンザ A/B 型別の検査結果が定点医療機関から報告されています。本市におけるインフルエンザ A/B 型別の患者情報を集計したところ、2018 年第 51 週は、インフルエンザ A 型 580 人、インフルエンザ B 型 2 人でした。2018/19 シーズンの累計では、インフルエンザ A 型 924 人、B 型 5 人となっています。

インフルエンザ A/B 型別患者報告数(2018/19 シーズン)
(定点医療機関からの情報による)



◆2018年第51週 患者報告数(疾病区別)、定点あたり患者報告数(疾病区別)、年齢階層別患者報告数(疾病別)

患者報告数(名古屋市)

2018年第51週(2018年12月17日~12月23日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
☆ インフルエンザ	90	51	51	84	83	30	91	51	34	118	101	166	74	35	62	93	1214	3.6	4.1
○ RSウイルス感染症		1	7	5	2					1		2					18	1.6	0.4
○ 咽頭結膜熱	2	3	3	6						5			1		1	1	22	0.9	1.4
○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	14	8	14	2	1			6	1	6	2	5	5	9	14	102	1.2	1.2
○ 感染性胃腸炎	43	12	37	67	28	22	29		1	27	52	30	51	23	22	28	472	1.0	0.9
○ 水痘	10	1	4	2	1				1	3			3	1	2	2	30	1.0	1.1
○ 手足口病	1	1	2	1		1				1			2			1	10	3.3	0.8
○ 伝染性紅斑	2		1	1			1						3		3	14	1.0	1.2	
○ 突発性発疹			1	1									1		4	1	8	1.1	0.6
○ ヘルパンギーナ																	0	0.0	0.0
○ 流行性耳下腺炎													2				2	0.7	0.2
△ 急性出血性結膜炎																	0	0.0	0.0
△ 流行性角結膜炎							1	3									4	1.0	1.3
◇ 細菌性髄膜炎																	0		
◇ 無菌性髄膜炎																	0		0.0
◇ マイコプラズマ肺炎							1										1		0.8
◇ クラミジア肺炎																	0		
◇ 感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		
計	163	83	114	181	116	54	123	54	42	156	159	205	137	64	103	143	1897		

*過去3年の同週の平均値との比

☆ インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○ 小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△ 眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇ 基幹定点数			1				1			1							3		

☆○△◇は定点種別を示す。

セルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2018年第51週(2018年12月17日~12月23日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	18.0	12.8	10.2	21.0	16.6	7.5	18.2	10.2	8.5	29.5	25.3	41.5	14.8	8.8	15.5	23.3	17.3
RSウイルス感染症		0.3	1.4	1.3	0.4					0.3		0.5			0.3	0.3	0.3
咽頭結膜熱	0.4	0.8	0.6	1.5						1.3			0.2		0.3	0.3	0.3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.0	3.5	1.6	3.5	0.4	0.3			1.5	0.3	1.5	0.5	1.0	1.3	2.3	3.5	1.5
感染性胃腸炎	8.6	3.0	7.4	16.8	5.6	5.5	5.8		0.3	6.8	13.0	7.5	10.2	5.8	5.5	7.0	6.7
水痘	2.0	0.3	0.8	0.5	0.2				0.3	0.8			0.6	0.3	0.5	0.5	0.4
手足口病	0.2	0.3	0.4	0.3		0.3						0.5					0.3
伝染性紅斑	0.4		0.2	0.3			0.2						0.8		0.8	0.8	0.2
突発性発疹			0.2	0.3									0.2		1.0	0.3	0.1
ヘルパンギーナ																	
流行性耳下腺炎													0.4				0.0
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎							1.0	3.0									0.4

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ 太字の数字 は流行発生警報

■ 斜体の数字 は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2018年第51週(2018年12月17日～12月23日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	3	10	30	34	51	59	52	65	71	73	51	211	60	106	92	106	65	36	27	12

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	5	7	2	2	1			1						
咽頭結膜熱		1	7	3	4	1	2	2						2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	3	9	12	14	12	12	10	6	14	1	6
感染性胃腸炎	4	26	64	47	37	49	34	25	14	19	9	30	10	104
水痘		1	2		2	1	1	2	8	2	4	7		
手足口病			4	4	1		1							
伝染性紅斑			2			1	2	4		3		2		
突発性発しん	1	2	5											
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎					1									1

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎																				
流行性角結膜炎								2		1										1

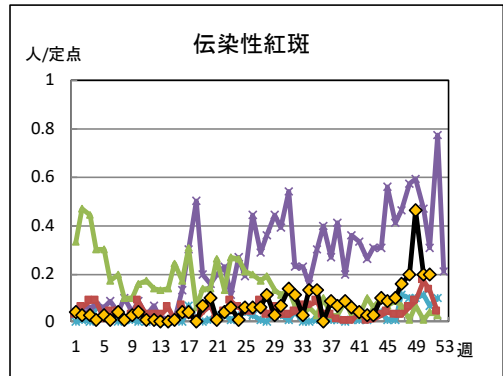
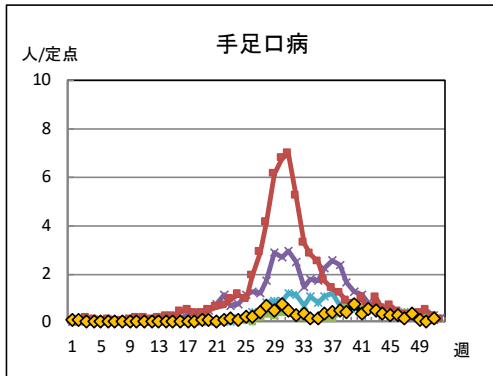
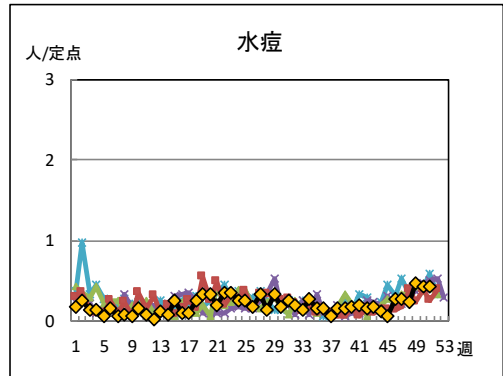
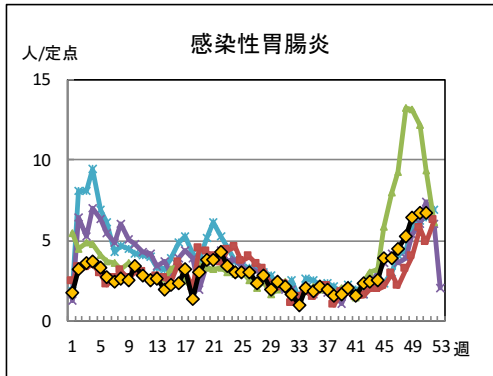
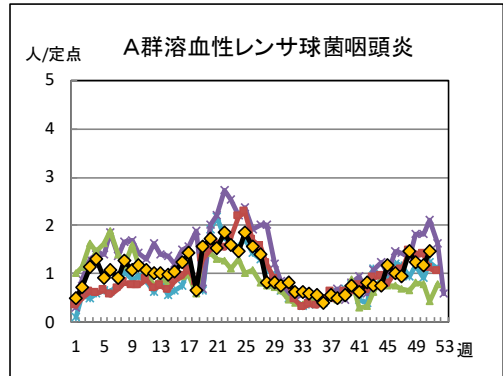
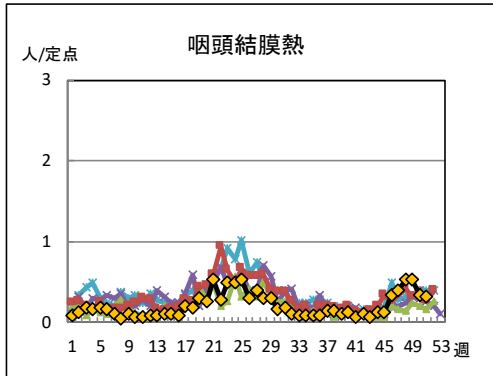
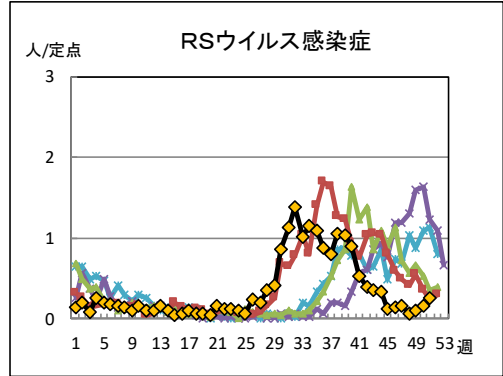
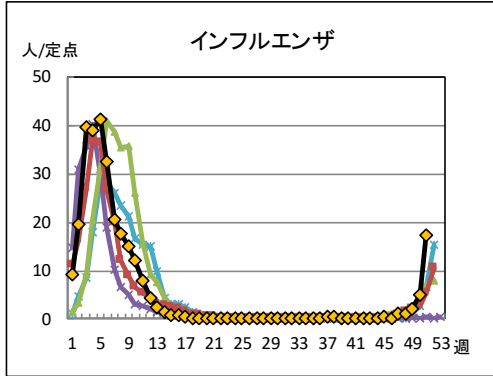
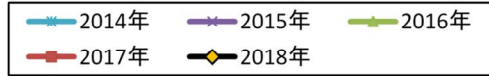
疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎			1													
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

〔インフルエンザ入院サーベイランス結果(基幹定点3カ所)〕

【2018年第51週:2件】 【2018/2019シーズン累計数:3件】

- 男性、75歳
- 男性、3歳

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2018年第51週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2018年第51週まで

